



SBS GROUP

<http://www.sbs-group.co.jp/>

2009年12月期

第2四半期決算説明会

2009年8月21日

SBSホールディングス株式会社



JASDAQ

SBS Holdings, Inc. 2384

1. 第2四半期 決算概要

第2四半期 連結業績(前期比較)

(単位:百万円)

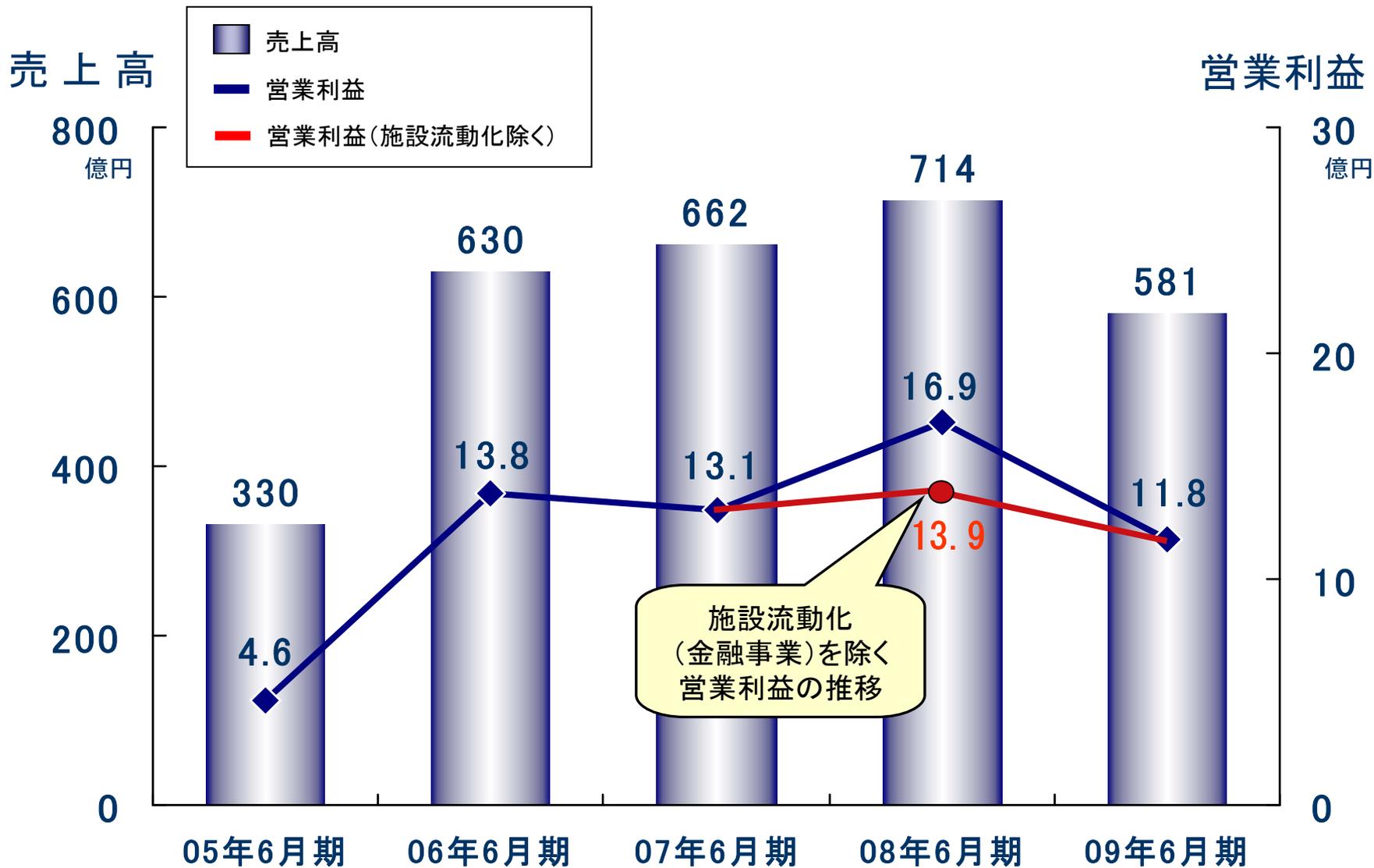
	08年12月期 2 Q		09年12月期 2 Q			
	実績値	構成比 (%)	実績値	構成比 (%)	前年比 (%)	増減額
売上高	71,467	100.0	58,145	100.0	△18.6	△13,322
営業利益	1,690	2.4	1,183	2.0	△30.0	△507
経常利益	2,138	3.0	1,604	2.8	△25.0	△534
当期純利益	△28	—	1,140	0.7	—	1,168

第2四半期 連結業績(計画比較)

(単位:百万円)

	09年12月期 2 Q		09年12月期 2 Q			
	計画値	構成比 (%)	実績値	構成比 (%)	計画比 (%)	増減額
売上高	64,400	100.0	58,145	100.0	△9.7	△6,255
営業利益	1,500	2.3	1,183	2.0	△21.1	△317
経常利益	1,800	2.8	1,604	2.8	△10.9	△196
当期純利益	700	1.1	1,140	2.0	62.9	+440

売上高・営業利益の推移



セグメント別業績(前期比較)

物流事業	マーケティング事業	人材事業	金融事業	その他の事業	消去又は全社	連結
------	-----------	------	------	--------	--------	----

2008年第2四半期(実績)

(単位:百万円)

売上高	56,440	5,505	3,301	5,549	673	—	71,468
営業利益	1,192	55	213	507	△122	(155)	1,690
営業利益率%	2.1	1.0	6.4	9.1	—	—	2.4

2009年第2四半期(実績)

(単位:百万円)

売上高	51,972	2,637	2,542	695	299	—	58,145
前期比%	△7.9	△52.0	△23.0	△87.5	△18.6	—	△18.6
営業利益	1,071	12	88	232	△41	(180)	1,183
前期比%	△10.1	△76.8	△58.2	△54.2	—	—	△30.0
営業利益率%	2.1	0.5	3.5	33.4	—	—	2.0

注) 当頁の売上高は外部顧客に対する売上高を表示しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年 12月期	2009年 6月期	増減額		2008年 12月期	2009年 6月期	増減額
現金及び預金	14,851	11,472	△3,379	支払手形及び買掛金	8,473	6,874	△1,599
受取手形及び売掛金	16,348	12,791	△3,557	短期借入金	28,540	26,590	△1,950
たな卸資産	12,801	15,072	2,271	一年以内返済予定 長期借入金	5,145	5,173	28
(内 販売用不動産)	(5,905)	(8,233)	(2,328)	その他流動負債	7,965	7,898	△67
(内 不動産信託受益権)	(6,705)	(6,667)	(△38)	流動負債計	50,123	46,536	△3,588
(内 商品・貯蔵品)	(192)	(173)	(△19)				
その他流動資産	2,075	1,971	△104	社債	120	1,560	1,440
貸倒引当金	△89	△66	23	長期借入金	26,882	24,582	△2,300
流動資産計	45,998	41,651	△4,347	負ののれん	2,177	1,301	△876
有形固定資産	55,447	54,861	△586	その他固定負債	10,588	10,598	10
投資有価証券	2,911	2,935	24	固定負債計	39,767	38,041	△1,726
その他固定資産	4,133	3,681	△452	負債合計	89,890	84,577	△5,314
				純資産合計	18,599	19,455	857
固定資産計	62,491	62,381	△110	(内 自己株式)	(△788)	(△788)	—
資産合計	108,489	104,032	△4,457	負債純資産合計	108,489	104,032	△4,457

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2008年6月期	2009年6月期	増減額
I 営業活動によるキャッシュフロー	5,400	1,063	△4,337
(内 税金等調整前当期純利益)	1,099	1,686	587
(内 減価償却費)	1,896	1,762	△134
(内 負ののれん償却額)	△723	△812	△89
(内 利息の支払額)	△342	△408	△66
(内 たな卸資産の増減額)	5,074	△2,380	△7,454
(内 不動産信託受益権の増減額)	△3,045	—	—
(内法人税等の支払額)	△1,619	△574	+2,193
II 投資活動によるキャッシュフロー	△1,874	△1,420	+454
III 財務活動によるキャッシュフロー	△1,543	△3,022	△1,479
IV現金及び現金同等物に係る換金差額	△115	190	+305
V現金及び現金同等物の増加・減少額	1,982	△3,379	△5,361
VI現金及び現金同等物の期首残高	6,753	14,821	+8,068
IX現金及び現金同等物の期末残高	8,730	11,441	+2,711

2. 2009年12月期 業績予想

2009年12月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2008年12月期		2009年12月期予想			
	実績値	構成比 (%)	当初予想値	修正予想値	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	139,405	100.0	130,000	120,000	100.0	△13.9
営業利益	3,325	2.4	3,100	3,100	2.6	△6.8
経常利益	3,995	2.9	3,700	3,700	3.1	△7.4
当期純利益	960	0.7	2,200	2,200	1.8	129.0

2009年12月期 業績予想(セグメント別)

物流事業	マーケティング事業	人材事業	金融事業	その他の事業	消去又は全社	連結
------	-----------	------	------	--------	--------	----

2008年12月期 (実績)

(単位:百万円)

売上高	114,523	10,294	6,895	6,608	1,086	—	139,405
営業利益	2,566	40	484	792	△261	(295)	3,325
営業利益率 %	2.2	0.4	7.0	12.0	—	—	2.4

2009年12月期 (予想)

(単位:百万円)

売上高	109,000	3,600	5,200	1,400	800	—	120,000
前期比 %	△4.8	△65.0	△24.6	△78.8	△26.3	—	△13.9
営業利益	3,100	40	150	350	0	(540)	3,100
前期比 %	+20.8	0.0	△69.0	△55.8	—	—	△6.8
営業利益率 %	2.8	1.1	2.9	25.0	—	—	2.6

注) 当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

3. SBSグループの 事業動向について

グループ事業の動向

	主要会社	トピックス
物流事業	ティーエルロジコム フーズレック 全通 SBSロジテム	伊豆貨物急送は、前期にリストラを実施 (路線の縮小、営業所の統廃合等)
マーケティング事業	ぱむ SBSポストウェイ	3月末にメール便サービスのSBSポスト ウェイを売却
人材事業	SBSスタッフ	物流施設への人材派遣が大幅減少、需要 減少に対応して営業所の閉鎖を実施(6カ 所)
金融事業	エーマックス SBSファイナンス	市場環境の悪化により物流施設の流動化 を実施せず
その他事業 (環境・情報)	総合物流システム ソルス	ソルスは、前期にリストラを実施したことか ら事業規模が縮小、収益は改善へ

■株式会社バルス様向け 3PL業務が7月から本格稼働

■SBSグループの総合力を発揮 した象徴的な3PL業務

バルス様は、家具・インテリア・生活雑貨などのショップを国内外に約140店舗展開する小売業。独自のデザインコンセプトで若い世代を中心とした消費者の支持を集める急成長企業です。

<バルス様の代表的なブランド>

Francfranc

主な特長と業務内容

- ・バルス社様向け物流センターを新たに開発し、提供
- ・センター管理には、独自開発の「ジェネシス／WMS」を導入
- ・入出庫、保管、荷役、輸配送まで一貫した物流機能を提供
- ・同社のプライベートブランド商品から取り扱いを開始
- ・将来的にはナショナルブランド商品もトータル管理へ

新3PL拠点開設(野田物流センター)

- 川越物流センターに続く自社3PL事業拠点
- 1階……………酒造メーカー向け(約3千坪強)
- 2～4階……………バルス様向け (約9千坪強)



センター概観



2階トラックバース

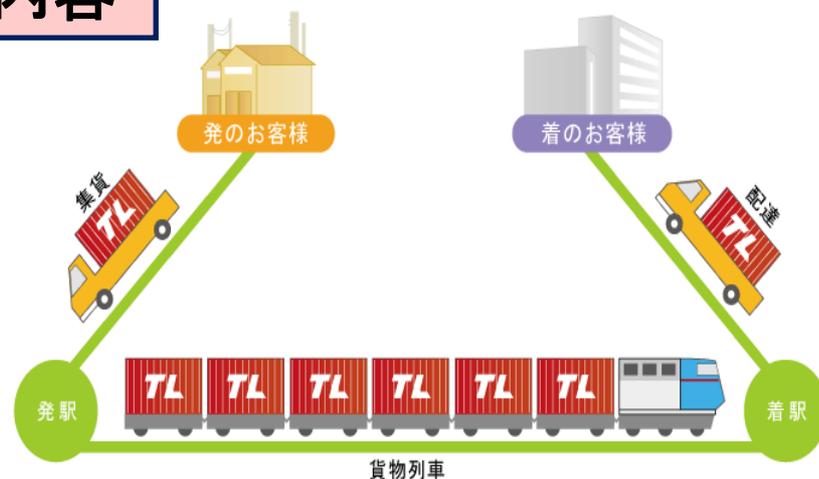
名称	野田物流センター
敷地面積	24,000㎡ (7,300坪)
構造	地上4階

所在地	千葉県野田市
延床面積	43,000㎡ (13,000坪)
竣工	2009年3月末

■ スナックフード大手企業の モーダルシフトを受注

主な業務内容

- ・CO₂削減に積極的に取り組む
企業ニーズに対応
- ・北海道 ↔ 関東、中国 → 九州
の工場間輸送を鉄道へシフト
- ・他ルートもモーダルシフト化へ



■ 宇都宮貨物ターミナルに拠点を開設

- 通運事業の豊富な経験とノウハウを活かし、
環境対策とコスト削減ニーズに応じていく

■ ティーエルロジコムでの事例

新規営業専門部隊

＜新規営業チャネルの開拓＞

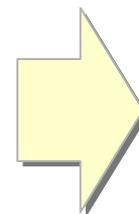
大不況下の企業行動



上期の主な獲得内容

顧客業種 → 食品、繊維、雑貨(靴)、卸・小売
提供機能 → 流通加工、輸配送、通運、倉庫など

09年度目標20億円はクリア



12年度までに
累計100億円獲得
を目標！

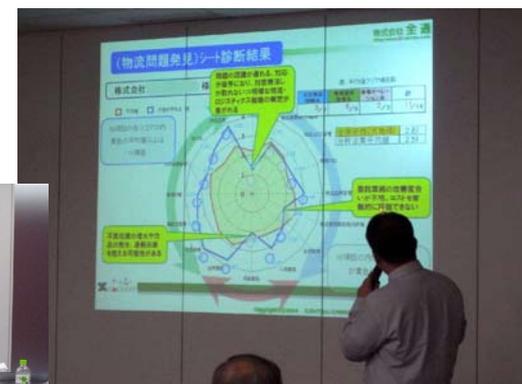
3PLコンサルタントの増強

- お客様の物流課題を解決でき、3PL商談を受注に導くコンサルタント人材を増強する
- 独自の研修カリキュラムを開発
- 前期23名が修了、後期28名が受講中
- 実践演習で、受注獲得成果も

3PL提案営業実践研修

- ・5か月間で全9回の講座
- ・3PL関連知識の習得
- ・問題発見の手法
- ・課題解決の手法
- ・提案構築の手法
- ・実践総合演習

【成果発表会の様子】



グループ各社の経営トップを顧客に見立てて、提案プレゼンを真剣に実施する受講生

09年度は50名修了目標、来期と合わせ100名育成

改善活動の進捗動向

■ 3年で延べ700超の現場改善

- ・延べ592事業所で744の現場改善活動実施
- ・現場レベルの改善から管理レベルの改善へ

■ 中級研修で人材育成を一層強化

- ・2年間で改善リーダー(初級)を約160名育成
- ・下期より中級人材(センター長クラス)の育成開始



実際稼働中の物流センターの調査をする中級受講者

■ 「全日本物流改善事例大会」で連続受賞

今年は2チームが優秀事例を発表

物量予測による
最適人員配置で
収支改善

(株)東北ウイング

物流合理化賞

独自給油方式
クォーターチャージ
による燃費改善

(株)TLトランスポート



物流合理化賞を2年連続受賞



日本ロジスティクス
システム協会会長
三村明夫氏より
(株)東北ウイングに
表彰状授与

全日本物流改善事例大会とは、毎年、日本ロジスティクスシステム協会等が開催する物流改善事例の発表の場で今年で23回目を数えます。物流における優れた改善実績に対し優秀賞が贈られ当大会で発表、最も優れた事例に「物流合理化賞」が贈られます。

エコ安全ドライブの推進

- 環境保全、安全運転、燃料コスト削減などに効果
- エコ安全ドライブリーダー研修会を開催

グループワークで環境、安全、リーダーシップを学ぶ スタート



全長2.4キロのテストコースで体感研修

ゴール ←

グループ各社より30名が受講
研修前 研修後

燃費
5.82 Km/L ▶ 7.68 Km/L

32%向上

グループ
年間燃料
使用量
2.7
万キロリットル

仮に10%向上で2.7億円削減
(軽油1L=100円換算)

- 300名のリーダーを育成(3千名超ドライバーの1割)
- 各現場でエコドライブの指導、励行徹底